

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-167210

(43)Date of publication of application : 22.06.2001

(51)Int.Cl.

G06F 19/00

G06F 17/60

(21)Application number : 11-347813

(71)Applicant : NTT DATA CORP

(22)Date of filing : 07.12.1999

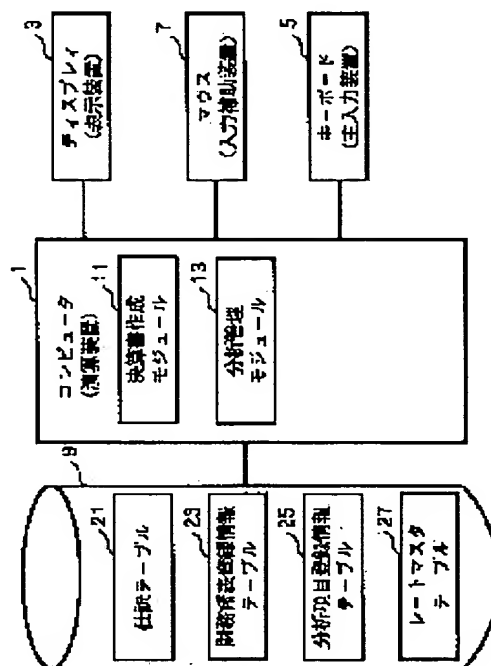
(72)Inventor : OKABE MARIO

(54) ACCOUNT SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prepare financial statements, that formats are different and the currency to use is different as well, in a single system.

SOLUTION: The various formats of financial statements are freely edited and registered in a financial statements register table 23 by a user, and the set of various analytic items to be used for analytic financial statements is freely edited and registered in an analytic item registration information table 25. Besides, exchange rates between various kinds of currency are registered in a rate master table 27. When the user designates any format of financial statements, designates the set of analytic items as needed, designates output currency and commands a computer 1 to output financial statements, the computer 1 acquires the designated format, analytic items and exchange rate from the tables 23, 25 and 27 and prepares the financial statements from account information in a sorting table 21 while using this information.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 06.02.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 14.07.2003

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-167210
(P2001-167210A)

(43) 公開日 平成13年6月22日 (2001.6.22)

(51) IntCl. ⁷	識別記号	F I	ターム(参考)
G 0 6 F 19/00		G 0 6 F 15/22	N 5 B 0 4 9
17/60		15/21	Z

審査請求 有 請求項の数10 O L (全 23 頁)

(21) 出願番号 特願平11-347813

(22) 出願日 平成11年12月7日 (1999.12.7)

(71) 出願人 000102728

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
東京都江東区豊洲三丁目3番3号

(72) 発明者 岡部 摩利夫

東京都江東区豊洲三丁目3番3号 株式会
社エヌ・ティ・ティ・データ内

(74) 代理人 100095371

弁理士 上村 輝之

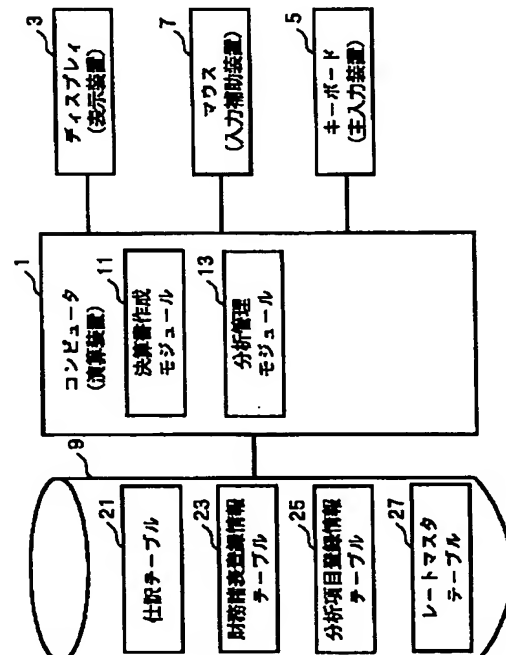
Fターム(参考) 5B049 AA01 CC03 DD01 EE02 FF01

(54) 【発明の名称】 会計システム

(57) 【要約】

【課題】 フォーマットが異なり使用通貨も異なる財務諸表を単一のシステムで作成する。

【解決手段】 ユーザが財務諸表の様々なフォーマットを自由に編集して財務諸表登録テーブル23に登録しておき、分析財務諸表で使用する様々な分析項目のセットを自由に編集して分析項目登録情報テーブル25に登録しておく。また、色々な通貨間の換算レートをレートマスターテーブル27に登録しておく。ユーザが財務諸表のフォーマットを指定し、必要あれば分析項目のセットを指定し、出力通貨を指定して、財務諸表の出力をコンピュータ1に命じると、コンピュータ1は、指定されたフォーマット、分析項目、換算レートをテーブル23、25、27から取得し、これらの情報を用いて、仕分テーブル21の会計情報から財務諸表を作成する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 財務諸表の各種類の帳表についての帳表構成を、ユーザからの入力情報に基づき編集する帳表構成編集手段と、

編集された帳表構成をユーザに見せるための財務諸表登録画面を表示する財務諸表登録画面表示手段と、

ユーザからの帳表構成登録要求に応答して、前記財務諸表登録画面上で編集された前記帳表構成を登録するものであって、各種類の帳表について複数の異なる帳表構成を登録することができる帳表構成登録手段と、

出力したい帳表の帳表構成を含む出力条件をユーザが指定するための出力条件指定手段と、

ユーザからの帳表出力要求に応答して、登録された帳表構成の中のユーザが指定した帳表構成を用いて、所定の会計情報に基づき、要求された種類の帳表を作成し出力する帳表出力手段と、を備えた会計システム。

【請求項 2】 前記帳表構成編集手段は、編集中的前記帳表構成に含まれる各集計科目の名称としてユーザが任意のテキストをタイプ入力するための集計科目テキスト入力手段を有する請求項 1 記載の会計システム。

【請求項 3】 財務諸表登録画面表示手段は、前記財務諸表登録画面内で、編集中的前記帳表構成に含まれる複数の集計科目をそれぞれ異なる行に表示し、各行には固有の行番号を表示し、

前記帳表構成編集手段は、任意の集計科目についての計算式として、計算対象の他の集計科目の前記財務諸表登録画面内での行番号を用いて表現した数式を、ユーザが前記財務諸表登録画面に入力するための計算式入力手段を有する請求項 1 記載の会計システム。

【請求項 4】 前記帳表構成編集手段は、任意の集計科目に対するインデントとして、インデントの長さを示す数値を、ユーザが前記財務諸表登録画面に入力するためのインデント入力手段を有する請求項 1 記載の会計システム。

【請求項 5】 前記帳表構成編集手段は、帳表上でマイナス値で表現されるべき集計科目について、マイナス値を意味するマークを、ユーザが前記財務諸表登録画面に入力するためのマイナス値指定手段を有する請求項 1 記載の会計システム。

【請求項 6】 前記帳表構成編集手段は、帳表上で非表示にされるべき集計科目について、非表示を意味するマークを、ユーザが前記財務諸表登録画面に入力するための非表示指定手段を有する請求項 1 記載の会計システム。

【請求項 7】 分析財務諸表の各種類の分析帳表で使用する分析項目のセットを、ユーザからの入力情報に基づいて編集する分析項目編集手段と、

編集された前記分析項目のセットを登録するものであって、異なる複数の分析項目セットを登録することができる分析項目登録手段と、

出力したい分析帳表で使用する分析項目セットの指定を含む分析帳表出力条件をユーザが指定するための出力条件指定手段と、

ユーザからの分析帳表出力要求に応答して、登録された帳表構成の中のユーザが指定した帳表構成と、登録された分析項目セットの中のユーザが指定した分析項目セットとを用いて、所定の会計情報に基づき、要求された種類の分析帳表を作成し出力する分析帳表出力手段とを更に備えた請求項 1 記載の会計システム。

10 【請求項 8】 前記出力条件指定手段が、所定の表計算アプリケーションで設定されているマクロを指定するマクロ指定手段を有し、

前記帳表出力手段が、作成した帳表を出力するとき、前記所定の表計算アプリケーションに対して、前記作成した帳表のデータを渡し且つ前記指定されたマクロによる前記帳表の加工を命じ、それにより、前記所定の表計算アプリケーションをして前記作成された帳表を加工された体裁で出力させる手段を有する請求項 1 記載の会計システム。

20 【請求項 9】 前記出力条件指定手段が、出力しようとする帳表で使用する換算通貨及び所定の基準通貨から前記換算通貨への換算レートをユーザが指定する手段を有し、

前記帳表出力手段が、要求された帳表を作成するとき、前記所定の会計情報から、前記指定された換算レートをを用いて、前記指定された換算通貨の金額で表現した帳表を作成する手段を有する請求項 1 記載の会計システム。

【請求項 10】 財務諸表の各種類の帳表についての帳表構成を、ユーザからの入力情報に基づき編集するステップと、

編集された帳表構成をユーザに見せるための財務諸表登録画面を表示するステップと、

ユーザからの帳表構成登録要求に応答して、前記財務諸表登録画面上で編集された前記帳表構成を登録するステップと、

ユーザの要求に応じて、前記編集するステップと前記表示するステップと前記登録するステップとを繰り返すことで、各種類の帳表について複数の異なる帳表構成を登録するステップと、

40 出力したい帳表の帳表構成を含む出力条件をユーザが指定するステップと、

ユーザからの帳表出力要求に応答して、登録された帳表構成の中のユーザが指定した帳表構成を用いて、所定の会計情報に基づき、要求された種類の帳表を作成し出力するステップとをコンピュータに実行させるためのプログラムを担持したコンピュータ読取可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】本発明は、コンピュータを用いた会計システムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来の会計システムにおいて、財務諸表はアプリケーション毎に固定的なフォーマットで出力され、同一データを複数種類のフォーマットで出力することができない。そのため、システム利用者の取扱い業務や運用内容によっては、システム自体のカスタマイズが必要で、高額なカスタマイズ費用が問題となっている。また、企業の国際化が進み、一つの財務諸表を複数の通貨で出力する必要がでてきたが、従来システムは、一つの財務諸表を様々な通貨で作成し出力することができない。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従って、本発明の目的は、フォーマットの異なった財務諸表を単一のシステムより作成できるようにすることにある。

【0004】本発明の別の目的は、使用通貨の異なった財務諸表を単一のシステムより作成できるようにすることにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明の会計システムは、財務諸表の各種類の帳表についての帳表構成を、ユーザからの入力情報に基づき編集する帳表構成編集手段と、編集された帳表構成をユーザに見せるための財務諸表登録画面を表示する財務諸表登録画面表示手段と、ユーザからの帳表構成登録要求に回答して、前記財務諸表登録画面上で編集された前記帳表構成を登録するものであって、各種類の帳表について複数の異なる帳表構成を登録することができる帳表構成登録手段と、出力したい帳表の帳表構成を含む出力条件をユーザが指定するための出力条件指定手段と、ユーザからの帳表出力要求に回答して、登録された帳表構成の中のユーザが指定した帳表構成を用いて、所定の会計情報に基づき、要求された種類の帳表を作成し出力する帳表出力手段とを備える。

【0006】本発明の会計システムによれば、財務諸表の各種類の帳表について、様々な異なる帳表構成（帳表フォーマット）を編集して登録しておくことができる。そして、登録された様々な帳表構成の中から任意の帳表構成を選択して帳表出力をシステムに命じれば、その選択した帳表構成の帳表を作成し出力することができる。

【0007】好適な実施形態では、前記帳表構成編集手段が、編集中の前記帳表構成に含まれる各集計科目の名称としてユーザが任意のテキストをタイプ入力するための集計科目テキスト入力手段を有する。帳表構成を編集する際、各種の集計科目の名称として、ユーザ任意のテキストが入力できるので、会社毎の用語の違いに対応することができる。

【0008】好適な実施形態では、財務諸表登録画面内で、編集中の帳表構成に含まれる複数の集計科目がそれぞれ異なる行に表示され、各行には固有の行番号が表示される。そして、帳表構成編集手段が、任意の集計科目

についての計算式として、計算対象の他の集計科目の財務諸表登録画面内での行番号を用いて表現した数式を、ユーザが前記財務諸表登録画面に入力するための計算式入力手段を有する。帳表出力手段は、入力された計算式に従って、該当する科目の金額などを計算する。これにより、各科目の計算式を行番号で表して入力できると共に、その行番号で表された計算式が財務諸表登録画面に表示されるので、ユーザは計算式を把握し易い。

【0009】好適な実施形態では、帳表構成編集手段が、任意の集計科目に対するインデントとして、インデントの長さを示す数値（例えば、空白の個数）を、ユーザが前記財務諸表登録画面に入力するためのインデント入力手段を有する。ユーザは、インデントの長さを数値で把握できるので分かり易い。

【0010】好適な実施形態では、帳表構成編集手段が、帳表上でマイナス値で表現されるべき集計科目について、マイナス値を意味するマークを、ユーザが財務諸表登録画面に入力するためのマイナス値指定手段を有する。財務諸表登録画面上の集計科目に付けられたマイナス値のマークにより、その集計科目がマイナス値で表現されるものであることが、ユーザに容易に分る。

【0011】好適な実施形態では、帳表構成編集手段が、帳表上で非表示にされるべき集計科目について、非表示を意味するマークを、ユーザが前記財務諸表登録画面に入力するための非表示指定手段を有する。例えば、同じ種類の帳表について、内部処理用の帳表構成は、全ての科目について非表示マークをオフに設定して登録し、一方、外部提出用の帳表構成は、開示不要な科目について非表示マークをオンに設定して登録しておくことで、内部処理用帳表では全科目が詳細に出力されるが、外部提出用の帳表には必要な科目だけが表示されるというように使い分けることができる。

【0012】好適な実施形態は、上記の構成に加えて、更に、分析財務諸表の各種類の分析帳表で使用する分析項目のセットを、ユーザからの入力情報に基づいて編集する分析項目編集手段と、編集された分析項目のセットを登録するものであって、異なる複数の分析項目セットを登録することができる分析項目登録手段と、出力したい分析帳表で使用する分析項目セットの指定を含む分析帳表出力条件をユーザが指定するための出力条件指定手段と、ユーザからの分析帳表出力要求に回答して、登録された帳表構成の中のユーザが指定した帳表構成と、登録された分析項目セットの中のユーザが指定した分析項目セットとを用いて、所定の会計情報に基づき、要求された種類の分析帳表を作成し出力する分析帳表出力手段とを備える。これにより、ユーザは予め様々な分析項目のセットを編集してシステムに登録しておくことができる。そして、分析財務諸表を出力する際には、ユーザが、登録しておいた様々な帳表構成の中から所望の帳表構成を指定するとともに、登録しておいた様々な分析項

目セットの中から所望のセットを指定して、分析財務諸表の出力をシステムに命じることにより、システムは、ユーザ所望の帳表構成をもちつユーザ所望の分析項目のセットを用いた分析帳表を作成し出力する。このように、複雑な分析財務諸表を、簡単にフォーマット指定して出力することができる。

【0013】好適な実施形態は、分析財務諸表を出力する際、会社内の部門をユーザが指定することで、部門別の分析財務諸表を出力することができるようになっている。

【0014】好適な実施形態では、前記出力条件指定手段が、所定の表計算アプリケーションで設定されているマクロを指定するマクロ指定手段を有し、また、前記帳表出力手段が、作成した帳表を出力するとき、前記表計算アプリケーションに対して、作成した帳表のデータを渡すとともに、指定されたマクロによる帳表の加工を命じる手段を有する。これにより、本システムで作成された帳表は、表計算アプリケーションに渡され、この表計算アプリケーションでマクロに従って自動的に加工されて出力される。このように、表計算アプリケーションの機能を利用して、所望のフォーマットの帳表を容易に出力することができる。

【0015】好適な実施形態では、前記出力条件指定手段が、出力しようとする帳表で使用する換算通貨及び所定の基準通貨から前記換算通貨への換算レートをユーザ*

*が指定する手段を有し、また、前記帳表出力手段が、要求された帳表を作成するとき、前記所定の会計情報から、前記指定された換算レートを用いて、前記指定された換算通貨の金額で表現した帳表を作成する手段を有する。これにより、ユーザ所望の通貨金額で示された財務諸表を容易に出力することができる。

【0016】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施形態にかかる会計システムを説明する。

- 10 【0017】このシステムから出力可能な財務諸表は全部で次の5種類あり、後述する決算書作成モジュールを利用して作成する。

- ①貸借対照表
- ②損益計算書
- ③販売費明細書
- ④製造原価報告書
- ⑤キャッシュフロー

上記の財務諸表の全てにおいて、その出力フォーマットをユーザが自由に編集し登録することが可能である。

- 20 【0018】上述の財務諸表は、分析管理モジュールを使用して、表1に示した形式での出力も可能である。すなわち、表の左欄に示した各分析カテゴリーについて、右欄に示した財務諸表を作成することができる。

【表1】

分析カテゴリー	財務諸表一覧
部門別	部門別貸借対照表 / 部門別損益計算書 / 部門別販売費明細書 / 部門別製造原価報告書
予算実績	予算実績貸借対照表 / 予算実績損益計算書 / 予算実績販売費明細書 / 予算実績製造原価報告書
前年比較	前年比較貸借対照表 / 前年比較損益計算書 / 前年比較販売費明細書 / 前年比較製造原価報告書 / 前年比較キャッシュフロー
推移	推移貸借対照表 / 推移損益計算書 / 推移販売費明細書 / 推移製造原価報告書
分析	分析貸借対照表 / 分析損益計算書 / 分析販売費明細書 / 分析製造原価報告書

【0019】図1は、本システムの構成を示す。コンピュータ(演算装置)1は、ディスプレイ(表示装置)3、主入力装置としてのキーボード5、補助入力装置としてのマウス7、及びデータベース9を備える。コンピュータ(演算装置)1は、財務諸表の作成に関わる主な機能要素として、基本的な財務諸表のフォーマットを登録しこのフォーマットに基づいて基本的な財務諸表を作成するための決算書作成モジュール11と、分析項目を登録しこの分析項目を上記基本的な財務諸表フォーマットに加味して分析財務諸表を作成するための分析管理モ

ジュール13とを有する。データベース9には、財務諸表作成機能に関わる主なテーブルとして、仕訳テーブル21、財務諸表登録テーブル23、分析項目登録情報テーブル25及びレイトマスターテーブル27が設けられる。

【0020】仕訳テーブル21には、表2(財務諸表作成に必要なテーブルのみを示す)に示すように会計情報がレコード単位で格納される。

【表2】

仕訳テーブル

伝票 番号	通貨	科目コ ード	補助コ ード	借方入力金 額	借方基 準金額	貸方入力金 額	貸方基 準金額
0001	JPY	1141	000000 0000	1,000,000	65,000	0	0
0001	JPY	5101	011	0	0	1,000,000	65,000
0002	RMB	5124	001	32800	32800	0	0
0002	RMB	1181	000000 0000	0	0	21000	21000
0002	RMB	1181	000000 0000	0	0	11800	11800

【0021】財務諸表登録情報テーブル23には、表3 *【表3】
に示すように、財務諸表レイアウト情報が格納される。*

財務諸表情報登録テーブル

行番 号	集計科 目	科目コ ード	補助コ ード	インデ ント	(-)区 分	非表 示	構成 比	計算式
1	資産の 部	(NULL)	(NULL)	0	0	0	0	(NULL)
2	流動資 産	(NULL)	(NULL)	3	0	0	0	(NULL)
3	現金及 び貯金	(NULL)	(NULL)	6	0	0	0	5+7+8
4	現金	(NULL)	(NULL)	0	0	1	0	(NULL)
5	(NULL)	1101	000000 0000	0	0	1	0	(NULL)

【0022】分析項目登録情報テーブル25には、表4 ※【表4】
に示すように、分析項目レイアウト情報が格納される。※

分析項目登録情報テーブル

分析項目 コード	行番号	分析項目 名称	項目名
001	0	分析項目 (001)	期首残高
001	1	(NULL)	前残高
001	2	(NULL)	当月度貸方 発生
001	3	(NULL)	当月度借方 発生
001	4	(NULL)	当月度増減
001	5	(NULL)	前期期首残 高
001	6	(NULL)	慥前残高

【0023】レートマスタテーブル27には、表5に示 【表5】
すように、通貨換算レート情報が格納される。

レートマスタテーブル

レートタイプ	換算先通貨 コード	換算元通貨 コード	日付	レート
TTB	JPY	RMB	99/01/01	0.065
TTB	JPY	RMB	99/01/02	0.065
TTB	JPY	RMB	99/01/03	0.065
TTS	JPY	RMB	99/01/01	0.062
TTS	JPY	RMB	99/01/02	0.062
TTS	JPY	RMB	99/01/03	0.062
TTM	JPY	RMB	99/01/01	0.061
TTM	JPY	RMB	99/01/02	0.061
TTM	JPY	RMB	99/01/03	0.061
社内レート	JPY	RMB	99/01/01	0.068
社内レート	JPY	RMB	99/01/02	0.068
社内レート	JPY	RMB	99/01/03	0.068

【0024】図2は、本システムの財務諸表作成の動作手順を示す。以下、この手順を説明する。

【0025】1. ステップS1: 財務諸表作成開始
財務諸表を出力する場合、まず、決算書作成モジュール11を起動する。決算書作成モジュール11では、

- ①貸借対照表
- ②損益計算書
- ③販売費明細書
- ④製造原価報告書
- ⑤キャッシュフロー

という5種類の基本的な帳表の構成(科目やレイアウトなど)を編集して登録する機能と、登録された構成を用いて上記基本的な帳表を出力する機能とをもつが、起動すると、この2つの機能が選択できるような画面(図示省略)を最初に表示する。ユーザは、帳表の構成を編集して登録する場合、決算書作成モジュール11の最初の画面(図示省略)上で、帳表構成の登録機能を選択した上で構成登録の対象となる帳票の種類を選択する。以下、帳表種類として貸借対照表を選択した場合を例にとって説明する。

【0026】2. ステップS2: 財務諸表登録画面表示
貸借対照表登録を選択すると、図3で示した貸借対照表登録画面100が表示される。この登録画面100の上部には帳表構成No.のフィールド101と、帳票名称のフィールド102とがあり、中央部には帳票構成データのフィールド103があり、下部には各種のコマンドボタン104～113がある。

【0027】2. ステップS3: 帳表構成No.入力
ユーザがフィールド101に帳表構成No.(例: 001)をエントリして、画面下部の「照会」ボタン107を押下することにより、決算書作成モジュール11は、エントリされた帳表構成No.を財務諸表登録情報テーブル23から照会する。

【0028】過去に登録した帳表構成を編集する場合、上記の検索の結果ヒットするので、決算書作成モジュール11は、そのヒットした帳表構成No.の登録内容を財務諸表登録情報テーブル23から読み出して、その帳表名称と帳表構成データを登録画面100のフィールド102、103にそれぞれ表示する。或いは、フィールド101をマウスでダブルクリックすると、登録されている帳表構成の一覧が表示されるので、ここから選択すると、選択された帳表の帳表構成No.、帳表名称、帳表構成データがフィールド101、102、103にそれぞれ表示される。

【0029】また、新規帳表の構成を作成する場合、つまり、上記検索の結果ヒットしない場合、決算書作成モジュール11は、具体的構成が未定のデフォルトの帳表構成データをフィールド103に表示する。図4に示した例は、新規帳表の場合であり、決算書作成モジュール11が自動的付与した帳票名称「貸借対照表(＃1)」とデフォルトの帳表構成データとが表示されている。このようにして、帳表構成は新規作成、再編集、削除することが可能である。

【0030】以下、この財務諸表登録画面100の帳表構成フィールド103上で、当該帳表の構成を編集していくが、編集された帳票構成データは表3に例示した財務諸表登録情報テーブル23に反映される。

【0031】なお、他の種類の財務諸表登録の手順も基本的に同様である。

【0032】4. ステップS4: 帳表レイアウト編集
図5に示すように、登録画面100の帳表構成フィールド103に帳表構成データをエントリしていくことにより、帳表構成を編集する。帳表構成フィールド103は、それぞれ行番号の付いた多数の行に区分され、かつ、「行番号」、「集計科目」、「科目コード」、「名称」、「補助コード」・(補助科目のコード)、補助科目

の「名称」、「インデント」、「(-)区分」、「非表示」、「構成比」、「貸借」、「純利益」及び「計算式」という項目別の列に区分されており、各項目のデータをユーザが入力する。

【0033】「集計科目」については、英数字全角50バイト以内でタイプ入力が可能であり、会社ごとの用語の違いに対応できる。科目は補助科目毎に登録する（コードをマスタから選択すると科目名称、補助名称が自動的に取得される）。

【0034】「インデント」に0、1、2などと数字を入力すると、帳表出力時に、集計科目が入力数字の個数の空白分、字下げされる。ユーザはこの数字からインデントの長さを容易に把握できる。

【0035】「(-)区分」にチェックマークを入れた行の金額は、帳表上でマイナス値で表示される。ユーザは、このチェックマークから、マイナス値で表示する集計科目を容易に識別できる。

【0036】「非表示」にチェックマークを入れた行の内容は、出力帳表上では表示されない。従って、例えば社内処理用の帳表構成では、全ての集計科目の「非表示」チェックをオフとすることで全情報を詳細に表示するが、外部提出用の帳表構成では開示不要な集計科目の「非表示」チェックをオンとすることで、外部提出帳表には必要な科目以外は表示しないようにすることができる。

【0037】「構成比」のチェックボックスは、1帳票につき科目のチェックマークを入れると、チェックマークを入れた科目に対する他科目の金額の比率が、出力された財務諸表に表示される。例えば、「売上高」の「構成比」にチェックマークを入れれば、「売上高」に対する他の費用の割合等を把握できる。「計算式」は行番号を用いて作成する。例えば、図5の3行目の「現金及び預金」の計算式「5+7+8」は、5行目の「現金」と7行目と8行目の「銀行預金」の合計金額であることを意味する。

【0038】登録画面100の下部に配置された各種のコマンドボタン、特に「行整理」ボタン104、「複写」ボタン105、「クリア」ボタン106、「削除」ボタン109、「行追加」ボタン110、「行削除」ボタン111などを使用することにより、帳表構成の編集効率を高めることができる。

【0039】こうして編集した帳表構成データは、「保存」ボタン108を押すことで、表3に示したように財務諸表登録情報テーブル23に登録される。

【0040】以上の帳表構成の編集と登録の手順を繰り返せば、例えば貸借対照表のような1種類の帳表について、多数の異なる帳表構成を編集しそれらの帳表構成をそれぞれ別の帳表構成No.を付して、財務諸表登録情報テーブル23に登録することができる。貸借対照表以外の他の種類の帳表についても同様である。

【0041】5. ステップS5：レイアウト編集完了
帳表構成を編集した後、登録画面100上の「終了」ボタン113を押下することで終了する。編集した帳表構成を未保存のまま終了しようとする、決算書作成モジュール11が編集内容を保存して終了するか、保存せずに終了するかをユーザに尋ねてくるので、保存忘れ等の心配がない。

【0042】6. ステップS6：分析財務諸表を使用
分析機能の拡張された財務諸表を出力するには、分析管理モジュール13を使用する。分析管理モジュール13が提供する拡張機能（分析管理機能）を利用することにより、各種分析帳表を容易に作成することが可能となる。すなわち、分析管理機能により、部門別、前年比較、予算実績比較、推移など様々な角度から企業活動を分析することが可能となる。

【0043】7. ステップS7：分析項目登録画面
分析管理モジュール13は、分析項目の登録機能と分析財務諸表の出力機能を持つが、起動すると、この2つの機能が選択できるような画面（図示省略）を表示し、ユーザが分析項目の登録を選択すると、図6に示すような分析項目登録画面200を表示する。分析項目登録画面200には、上部の分析項目コード入力部201と、中央部の分析項目一覧部202と、下部の分析項目登録部203とに分かれている。

【0044】8. ステップS8：分析項目コード入力
新規に分析項目を登録する場合は、図7に示すように、画面200の上部の分析項目コード入力部201内の入力フィールド204、205にそれぞれ、新規の分析項目コードと分析項目名称をエントリする。そして、次のステップS9で、画面中央部の分析項目一覧部202内に表示されている多数の分析項目の中から、所望の項目を選んで、登録ボタン206を押すことにより、選んだ分析項目を画面下部の分析項目登録部203にエントリする。

【0045】また、過去に登録した内容を編集する場合は、上部のフィールド204をマウスでダブルクリックすることで、分析管理モジュール13が、分析項目登録情報テーブル25に登録されている分析項目コードと分析項目名称の一覧を表示するので、この一覧の中からユーザがいずれかを選択する。すると、分析管理モジュール13が、選択した分析項目コードで登録されている分析項目を分析項目登録情報テーブル25から読み込んで分析項目登録部203に表示するので、次のステップS9で、ユーザは分析項目登録部203に分析項目一覧部202から追加の分析項目を選んで分析項目登録部203に追加登録したり、分析項目登録部203から不要な分析項目を選んで削除したりする。

【0046】1つの分析項目コードと分析項目名称について、複数の分析項目を分析項目登録部203に登録することができ、登録された分析項目の各々には、それが

帳表内の何番目の列に表示されるかを示す列番号が付されている。画面200中の登録ボタン206の横のフィールド207には、登録しようとする分析項目が何番目の列に登録されるかを示す列番号が表示される。

【0047】分析項目一覧部202に表示される登録可能な分析項目としては、例えば、次のようなものがある。

【0048】[当期項目] 期首残高、前残高、当月度借方発生、当月度貸方発生、当月度増減、当期借方累計、当期貸方類型、当期増減、当期残高。

【0049】[前年項目] 前期期首残高、前期前残高、前期同月度借方発生、前期同月度貸方発生、前期同月度増減、前期借方累計、前期貸方累計、前期増減、前期同期残高、前期同月度差異、前期累計差異。

【0050】上記の他に11種の分析項目が用意されている。

【0051】9. ステップS9: 分析項目編集

図8に示すように、前述のステップS8で画面200のフィールド204、205(図8のステップ①)に分析項目コードと分析項目名をエントリした後、このステップS9では以下の手順で、分析項目の編集(つまり、使用する分析項目の選択と登録)を行う。

【0052】ステップ②: 分析項目一覧部202から、分析項目登録部203に追加する分析項目を選択する。

【0053】ステップ③: 列番号フィールド207に、分析項目登録部203の何列目に選択した分析項目を配置するかを番号を入力する。

【0054】ステップ④: 登録ボタン206を押して、選択した分析項目を⑤の分析項目登録部203に追加する。

【0055】ステップ⑤: ステップ②-④を繰り返さない、使用したい全ての分析項目を分析項目登録部203にエントリする。

【0056】ステップ⑥: 必要に応じて、画面200最下部のコマンドボタン208~215を用いて、分析項目登録部203内の列の追加 / 削除、既登録の分析項目コードの照会クリア / 削除 / 印刷、編集結果の保存、編集の終了を行なうことができる。

【0057】編集後、「保存」ボタン211を押すことで、分析管理モジュール13は、分析項目登録部203に登録された分析項目のセットを、フィールド204、205にエントリされた分析項目コードと分析項目名で、表4に示すように分析項目登録情報テーブル25に登録する。

【0058】10. ステップS10: 分析項目編集完了
分析項目登録作業を、図9の画面200最下部の「終了」ボタン215を押下することで終了する。編集した分析項目を未保存のまま終了しようとする、分析管理モジュール13がユーザに対し、編集内容を保存して終

了するか、保存せずに終了するかを確認してくるので、保存忘れ等の心配がない。

【0059】以上の分析項目の編集と登録の手順を繰り返せば、例えば分析貸借対照表のような1種類の帳表について、多数の異なる分析項目セットを編集しそれらの分析項目セットをそれぞれ別の分析項目No.を付して、分析項目登録情報テーブル25に登録することができる。貸借対照表以外の他の種類の帳表についても同様である。

10 【0060】11. ステップS11: 財務諸表出力画面表示

以上のようにして、決算書作成モジュール11の帳表構成登録機能を用いて財務諸表(例えば、貸借対照表)の基本的構成を登録し、必要に応じ分析管理モジュール13の分析項目登録機能を用いて分析財務諸表で用いる分析項目を登録した後に、ユーザは、基本的な財務諸表を出力する場合には、決算書作成モジュール11の財務諸表出力機能を起動して出力すべき帳表の種類を指定し、また、分析財務諸表を出力する場合には、更に分析管理モジュール13の分析財務諸表出力機能を起動する。図9は、決算書作成モジュール11の財務諸表出力機能を起動して、出力すべき財務諸表に貸借対照表を指定したときの、貸借対照表の出力指示画面300を示す。図10は、更に分析管理モジュール13の分析財務諸表出力機能を起動したときの、分析貸借対照表の出力指示画面400を示す。

【0061】いずれの出力指示画面300、400にも、次のようなエリアがある。

【0062】① 帳表構成No.入力フィールド301、401

② その他出力条件(貸借対照表の画面: 計上日 / 出力対象など、分析貸借対照表の画面: 分析項目 / 会計年度 / 予算No. / 部門指定 / 部門など)の指定エリア302、402

③ マクロ指定フィールド303、403

④ 出力通貨情報(外貨換算機能)エリア304、404

⑤ コマンドボタン(参照 / レート入力 / 開始 / 終了)305、405

40 12. ステップS12: 帳表構成No.入力

財務諸表(貸借対照表)を出力する場合の帳表構成No.入力例を図11に、分析財務諸表(貸借対照表)を出力する場合の帳表構成No.入力例を図12に示す。図示のように、まず、画面300又は400の帳表構成No.入力フィールド301又は401に、出力したい帳表の帳表構成No.(ステップS3、S4で予め登録したもの)をエントリする。

【0063】13. ステップS13: その他出力条件入力
財務諸表(貸借対照表)を出力する場合のその他出力条件入力例を図13に、分析財務諸表(貸借対照表)を出

力する場合のその他出力条件入力例を図14に示す。図示のように、画面300又は400のその他出力条件指定エリア302、402で、その他の各種の出力条件を指定する。

【0064】図13に示す基本的な財務諸表（貸借対照表）の場合、指定可能な条件として、計上日の範囲と、出力対象としての未承認及び決算伝票を含むか含まないかの指定がある。一方、図14に示す分析財務諸表（貸借対照表）の場合には、指定可能な条件（図13に示した条件に追加できる条件）として、分析項目、会計月

度、予算No.、部門指定、部門がある。部門指定及び部門のエントリを行うことで、会社内の部門別に分析財務諸表を作成することができる。

【0065】14. ステップS14：表計算マクロ登録財務諸表（貸借対照表）の場合の表計算マクロ登録例を図15に、また分析財務諸表（貸借対照表）の場合の表計算マクロ登録例を図16に示す。ここでは、次の手順で、帳表出力に用いる表計算アプリケーション（例えば、米国マイクロソフト社のExcel（商標）など）のマ

クロを指定することができる。

【0066】ステップ④：マクロファイル名とそのファイルに含まれるマクロ名をマクロ指定フィールド303及び403に記述する。

【0067】ステップ⑤：「参照」ボタン306又は406を押下することにより、予め登録されているマクロファイルの照会ができるので、その中から所望のマクロファイルを選択してマクロ指定フィールド303及び403にエントリすることも可能である。

【0068】こうして一度指定されたマクロファイルとマクロは、変更されるまで保持されるので、次の帳表出力時に再度指定する必要はない。

【0069】15. ステップS15：外貨レート換算画面表示

所定の基準通貨以外の通貨を出力帳表で使用する場合には、ユーザは図15、16に示す「レート入力」ボタン307又は407を押下する。すると、決算書作成モジュール11又は分析管理モジュール13は、図17に示すような外貨レート画面500を表示する。

【0070】16. ステップS16：レート情報入力

図18は、外貨レート画面500への外貨レート情報の入力例を示す。レート換算で必要となる入力情報は以下の通りである。

【0071】換算通貨：出力帳表で使用する通貨であり、システムに予め登録された全ての通貨の中から選択が可能。

【0072】レートタイプ：換算を行うときに使用する通貨レートのタイプであり、システムに予め登録されたTTS / TIM / TTBなど全部で10種類のレートタイプの中から選択が可能。

【0073】換算日：レート換算を行う日であり、任意

の日を入力することができる。

【0074】換算レート：システムに予め設定された基準通貨から上記換算通貨へ換算するときのレート値である。上記換算通貨、レートタイプ及び換算日が入力されたとき、表5に示したレートマスターテーブル27に、それらの入力情報に該当するレート値が予め登録されていれば、外貨レート換算モジュール15は、その該当のレート値をレートマスターテーブル27から読み込んでデフォルトのレート値とする。ユーザは、このデフォルトのレート値に代えて、任意のレート値を入力することもできる。

【0075】以上の情報をエントリした上で、「換算」ボタン501を押下することにより、財務諸表を出力する際の換算レート情報の設定が完了する。設定された換算レート情報（換算通貨、基準通貨、換算レート値）は、図15、16に示した画面300、400の出力通貨情報エリア304、404に表示される。

【0076】17. ステップS17：出力準備完了

上述したステップS1～S16の手順を終えると財務諸表を出力する準備が完了する。設定内容が誤っている場合は、再度任意のエントリを再設定することができる。

【0077】18. ステップS18：財務諸表出力

全エントリに誤りが無ければ、ユーザは図15、16に示した画面300、400の「開始」ボタン308又は408を押下する。すると、決算書作成モジュール11又は分析管理モジュール13は、画面300、400で指定された帳表構成No.に該当する帳表構成情報を財務諸表登録情報テーブル23から取得し（さらに、分析財務諸表を出力する場合には、画面400で指定された分析項目No.に該当する分析項目のセットを分析項目テーブル23から取得し）、画面300、400で指定されたその他の出力条件の下で（さらに、レート換算が指定されている場合には指定された換算レート値も用いて）、仕訳テーブル21から読み込んだ指定された計上日範囲、出力対象、部門にかかる会計情報について、出力帳表に記述すべき全ての数値を計算し、また、所定の表計算アプリケーションを起動して、計算結果として出来あがった帳表のデータをその表計算アプリケーションに渡す。また、画面300、400でマクロが指定されている場合には、そのマクロも表計算アプリケーション上で実行される。結果として、表計算アプリケーションがその帳表を表示する。

【0078】図19～図21は、決算書作成モジュール11による基本的な財務諸表（貸借対照表）の出力結果例を示す。図19はレート換算指定無しの場合であり基準通貨の金額で示されており、図20は図19と同じ内容をレート換算指定を行って出力した場合であり換算通貨の金額で示されている。また、図21は図19と同じ内容をマクロ処理を指定して出力した場合であり、マクロで設定されたレイアウト編集や棒グラフ表示などの操

作が表計算アプリケーションによって実行されている。

【0079】図22～図24は、分析管理モジュール13による分析財務諸表（貸借対照表）の出力結果例を示し、指定された分析項目No.に該当する複数の分析項目についての数値が表示されている。図22はレート換算指定無しの場合で基準通貨の金額が表示され、図23はレート換算指定有りの場合で換算通貨の金額で表示され、また、図24はマクロ処理指定有りの場合でマクロ設定されたレイアウト編集や棒グラフ表示が加えられている。

【0080】19. ステップS19：財務諸表作成完了
以上により、財務諸表作成の処理が完結する。なお、上の説明は貸借対照表を例にとり行ったが、他の帳表も基本的に同様の手順により作成できる。

【0081】以上、本発明の一実施形態を説明したが、これらの実施形態はあくまで本発明の説明のための例示であり、本発明をこれら実施形態にのみ限定する趣旨ではない。従って、本発明は、上記実施形態以外の様々な形態でも実施することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態のシステム構成を示すブロック図。

【図2】財務諸表作成処理のフローチャート。

【図3】財務諸表登録画面100の例を示す図。

【図4】財務諸表登録画面100で新規の帳表構成No.をエントリしたときの画面例を示す図。

【図5】財務諸表登録画面100で帳表構成を編集したときの画面例を示す図。

【図6】分析項目登録画面200の例を示す図。

【図7】分析項目登録画面200に分析項目No.をエントリしたときの画面例を示す図。

【図8】分析項目登録画面200で分析項目を編集したときの画面例を示す図。

【図9】基本的財務諸表を出力するための帳表出力指定画面300の例を示す図。

【図10】分析財務諸表を出力するための帳表出力指定画面400の例を示す図。

【図11】基本的帳表の出力指定画面300で帳表構成No.をエントリしたときの画面例を示す図。

【図12】分析帳表の出力指定画面400で帳表構成No.をエントリしたときの画面例を示す図。

【図13】基本的帳表の出力指定画面300でその他の出力条件をエントリしたときの画面例を示す図。

【図14】分析帳表の出力指定画面400でその他の出力条件をエントリしたときの画面例を示す図。

【図15】基本的帳表の出力指定画面300でマクロ処理をエントリしたときの画面例を示す図。

【図16】分析帳表の出力指定画面400でマクロ処理をエントリしたときの画面例を示す図。

【図17】外貨レート画面500の例を示す図。

【図18】外貨レート画面に外貨レート情報をエントリしたときの画面例を示す図。

【図19】基本的帳表の出力結果例（レート換算指定無し）を示す図。

【図20】基本的帳表の出力結果例（レート換算指定有り）を示す図。

【図21】基本的帳表の出力結果例（マクロ処理指定有り）を示す図。

【図22】分析帳表の出力結果例（レート換算指定無し）を示す図。

【図23】分析帳表の出力結果例（レート換算指定有り）を示す図。

【図24】分析帳表の出力結果例（マクロ処理指定有り）を示す図。

【符号の説明】

1 コンピュータ（演算装置）

9 データベース

11 決算書作成モジュール

13 分析管理モジュール

21 仕訳テーブル

23 財務諸表登録情報テーブル

25 分析項目登録情報テーブル

27 レートマスターテーブル

100 財務諸表登録画面

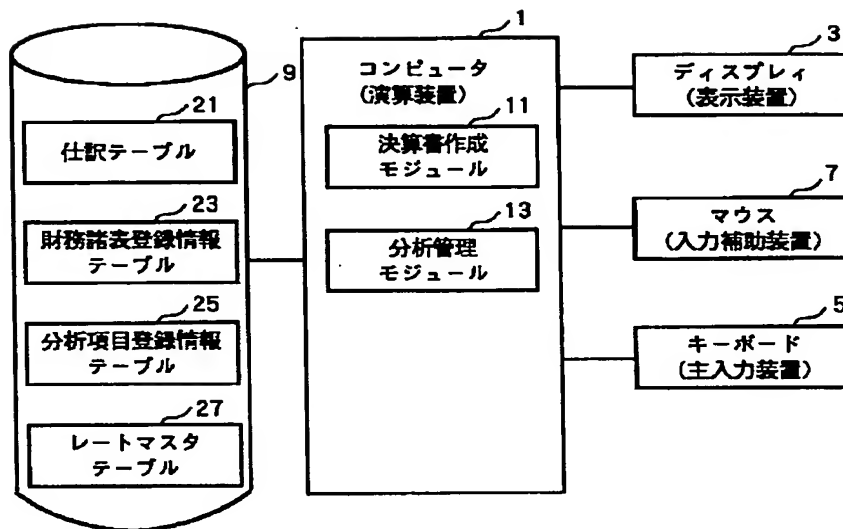
200 分析項目登録画面

300 基本的財務諸表の出力指定画面

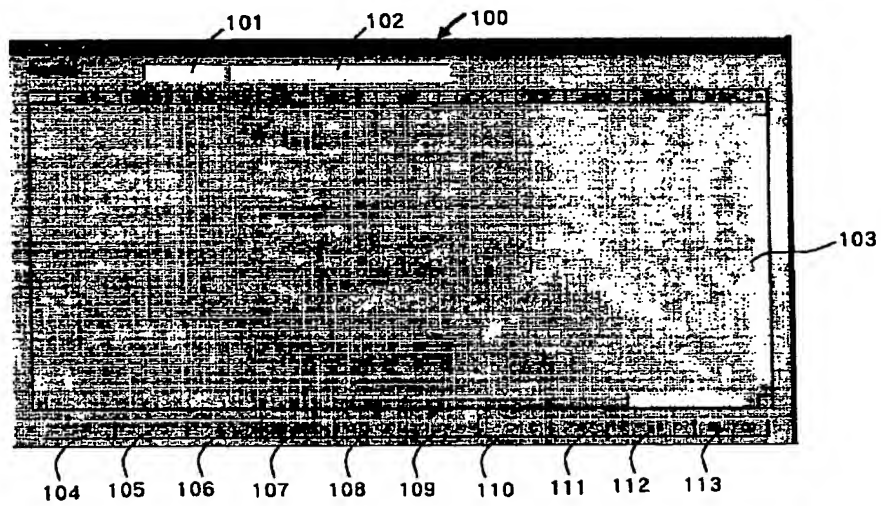
400 分析財務諸表の出力指定画面

500 外貨レート画面

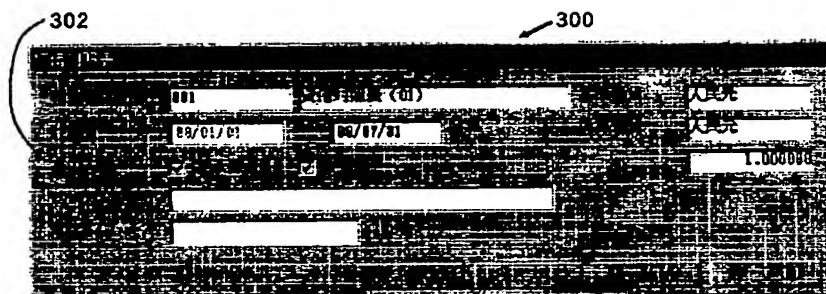
【図1】



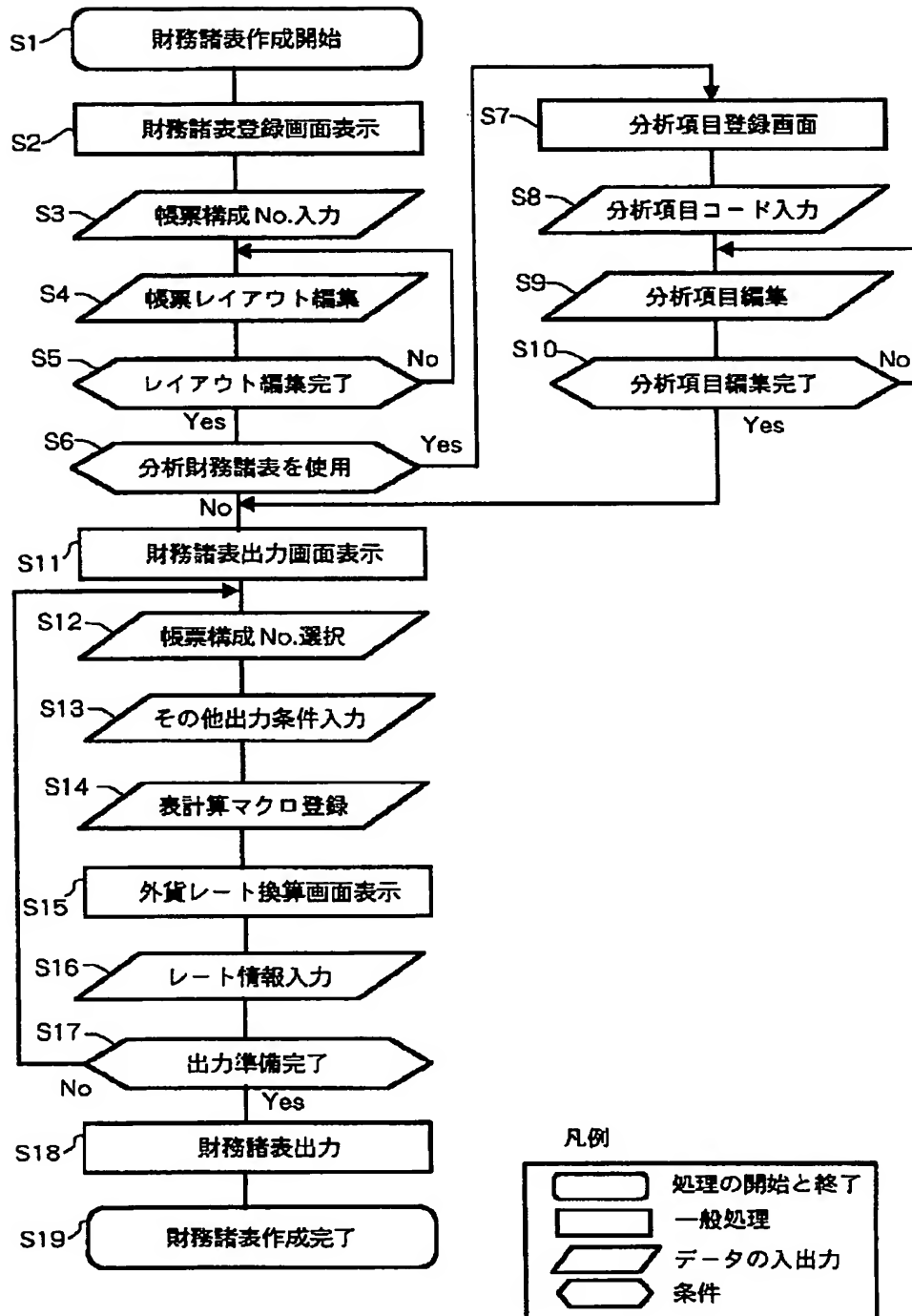
【図3】



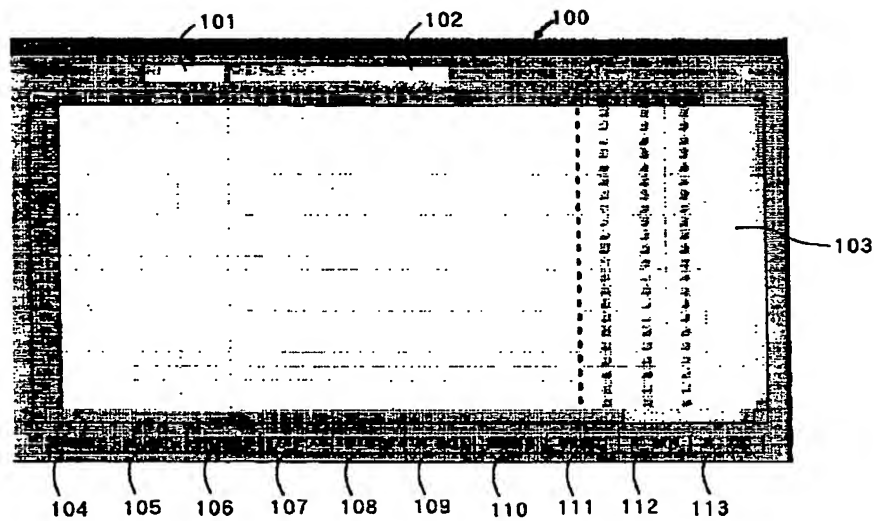
【図13】



【図2】



【図4】



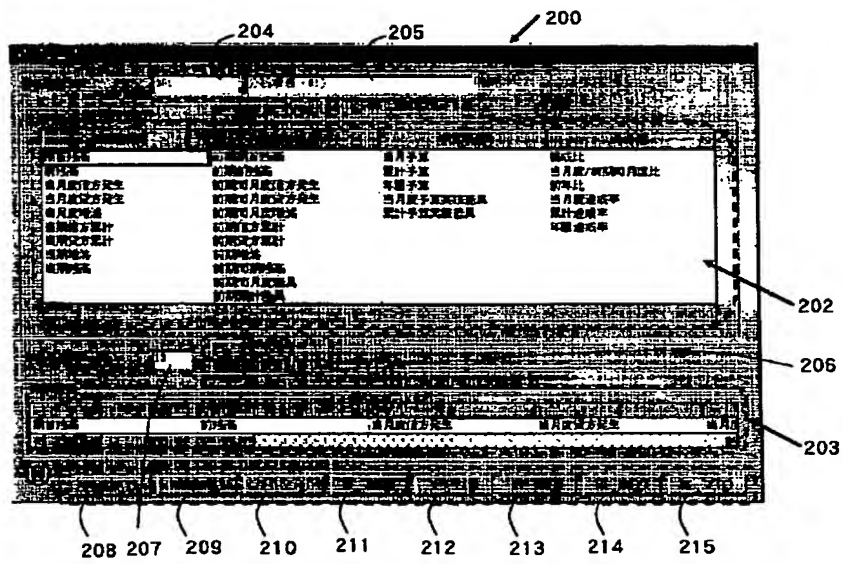
【図5】

項目	金額	単位	備考
1 収支内訳			
2 収入金			
3 収入金及び利息			
4 収入金			
5 収入金	1131	円	000120000
6 銀行預金	1111	円	001 大上興行南支店
7 銀行預金	1111	円	002 大上興行南支店 (阿口店)
8 有価証券	1121	円	001 三菱東京UFJ銀行
9 有価証券	1121	円	002 三菱東京UFJ銀行
10 有価証券	1141	円	000120000
11 貸倒引当金	1151	円	000120000
12 貸倒引当金	1151	円	000120000
13 繰入材料	1201	円	000120000
14 繰入材料	1201	円	001 昭和電気工業株式会社
15 繰入材料	1201	円	002 昭和電気工業株式会社
16 繰入材料	1201	円	003 昭和電気工業株式会社
17 繰入材料	1201	円	004 昭和電気工業株式会社
18 繰入材料	1201	円	005 昭和電気工業株式会社
19 繰入材料	1201	円	006 昭和電気工業株式会社
20 繰入材料	1201	円	007 昭和電気工業株式会社
21 繰入材料	1201	円	008 昭和電気工業株式会社
22 繰入材料	1201	円	009 昭和電気工業株式会社
23 繰入材料	1201	円	010 昭和電気工業株式会社

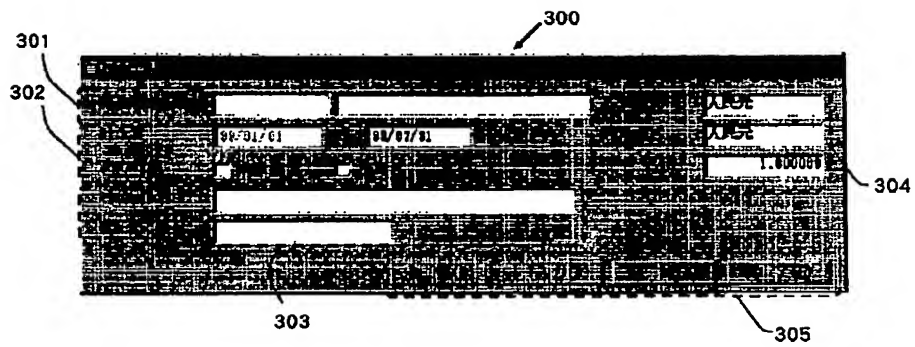
Figure 1 is a schematic diagram of a data processing system. The system is represented as a large rectangle divided into several horizontal sections. At the top, there are labels 204, 205, and 201. Below these, there is a large rectangular area containing a table with four columns. The first column lists various data sources or inputs. The second column lists corresponding data processing steps or functions. The third column lists the resulting data outputs. The fourth column lists the final data storage or distribution points. To the right of the table, there is a label 202. Below the table, there is another large rectangular area containing a table with two columns. The first column lists various data sources or inputs. The second column lists corresponding data processing steps or functions. To the right of this table, there is a label 203. At the bottom of the diagram, there is a label 207.

Figure 1 is a schematic diagram of a data processing system. It includes a central processing unit (200) connected to a database (201) and a display (202). The display shows a table with columns for 'Month' (203), 'Year' (204), and 'Ratio' (205). The table contains data for 'Month' (203), 'Year' (204), and 'Ratio' (205). The display also shows a 'Total' (206) and a 'Ratio' (207).

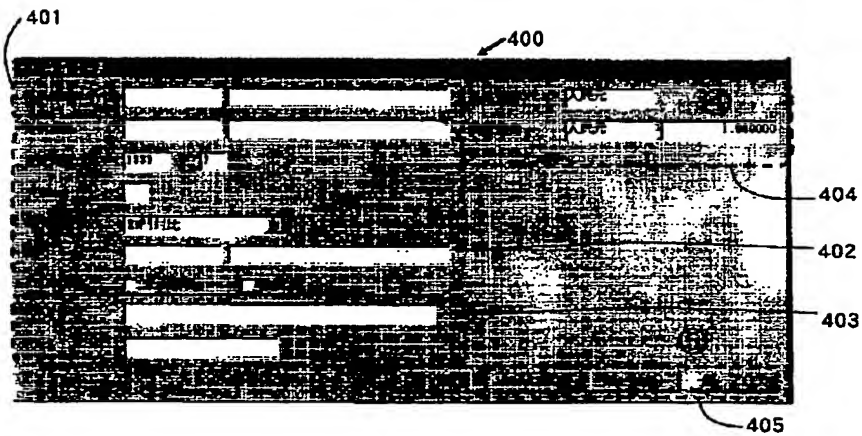
【図8】



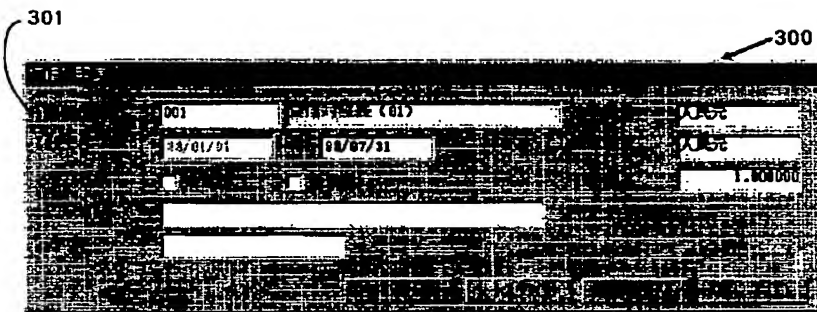
【図9】



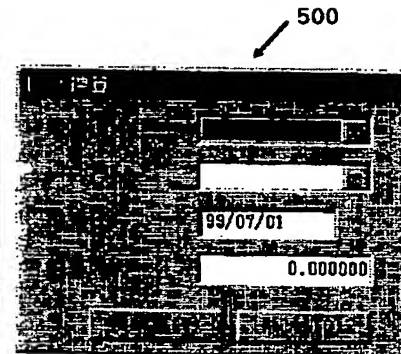
【図10】



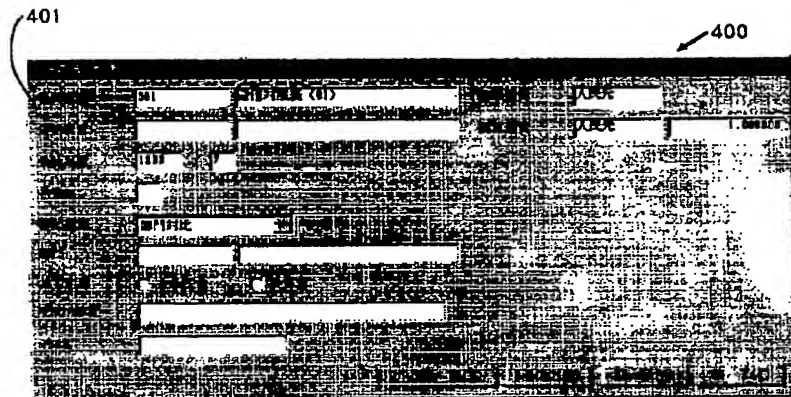
【図11】



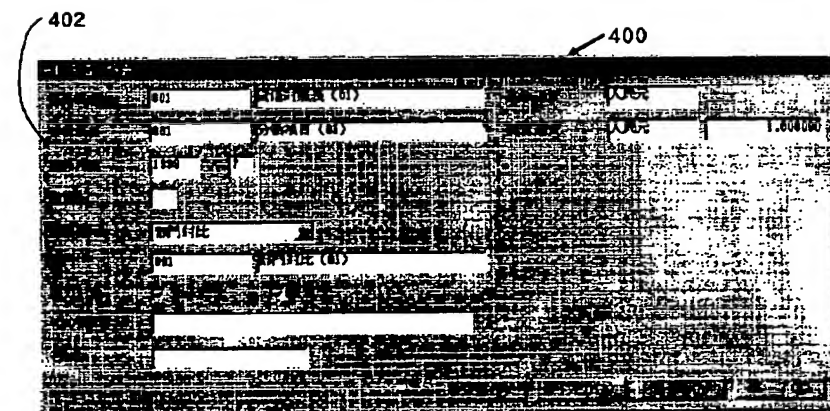
【図17】



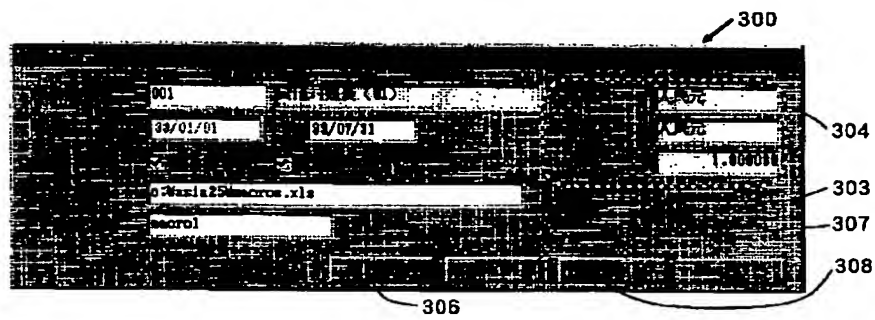
【図12】



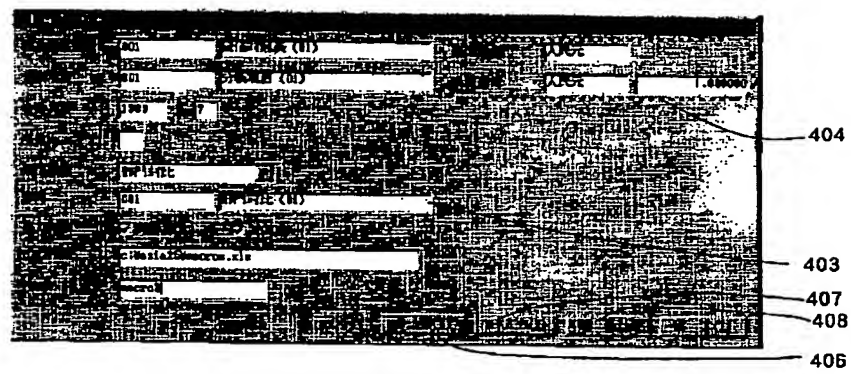
【図14】



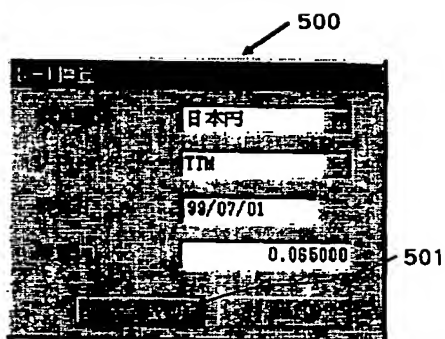
【図15】



【図16】



【図18】



【図19】

MS 明細	第 9 号	第 1 号	第 2 号	第 3 号	第 4 号	第 5 号	第 6 号	第 7 号	第 8 号	第 9 号	第 10 号	第 11 号	第 12 号	第 13 号	第 14 号	第 15 号	第 16 号	第 17 号	第 18 号	第 19 号	第 20 号	第 21 号	第 22 号	第 23 号	第 24 号	第 25 号	第 26 号	第 27 号	第 28 号	第 29 号	第 30 号	第 31 号	第 32 号	第 33 号	第 34 号	第 35 号	第 36 号	第 37 号	第 38 号	第 39 号	第 40 号	第 41 号	第 42 号	第 43 号	第 44 号	第 45 号	第 46 号	第 47 号	第 48 号	第 49 号	第 50 号	第 51 号	第 52 号	第 53 号	第 54 号	第 55 号	第 56 号	第 57 号	第 58 号	第 59 号	第 60 号	第 61 号	第 62 号	第 63 号	第 64 号	第 65 号	第 66 号	第 67 号	第 68 号	第 69 号	第 70 号	第 71 号	第 72 号	第 73 号	第 74 号	第 75 号	第 76 号	第 77 号	第 78 号	第 79 号	第 80 号	第 81 号	第 82 号	第 83 号	第 84 号	第 85 号	第 86 号	第 87 号	第 88 号	第 89 号	第 90 号	第 91 号	第 92 号	第 93 号	第 94 号	第 95 号	第 96 号	第 97 号	第 98 号	第 99 号	第 100 号	第 101 号	第 102 号	第 103 号	第 104 号	第 105 号	第 106 号	第 107 号	第 108 号	第 109 号	第 110 号	第 111 号	第 112 号	第 113 号	第 114 号	第 115 号	第 116 号	第 117 号	第 118 号	第 119 号	第 120 号	第 121 号	第 122 号	第 123 号	第 124 号	第 125 号	第 126 号	第 127 号	第 128 号	第 129 号	第 130 号	第 131 号	第 132 号	第 133 号	第 134 号	第 135 号	第 136 号	第 137 号	第 138 号	第 139 号	第 140 号	第 141 号	第 142 号	第 143 号	第 144 号	第 145 号	第 146 号	第 147 号	第 148 号	第 149 号	第 150 号	第 151 号	第 152 号	第 153 号	第 154 号	第 155 号	第 156 号	第 157 号	第 158 号	第 159 号	第 160 号	第 161 号	第 162 号	第 163 号	第 164 号	第 165 号	第 166 号	第 167 号	第 168 号	第 169 号	第 170 号	第 171 号	第 172 号	第 173 号	第 174 号	第 175 号	第 176 号	第 177 号	第 178 号	第 179 号	第 180 号	第 181 号	第 182 号	第 183 号	第 184 号	第 185 号	第 186 号	第 187 号	第 188 号	第 189 号	第 190 号	第 191 号	第 192 号	第 193 号	第 194 号	第 195 号	第 196 号	第 197 号	第 198 号	第 199 号	第 200 号	第 201 号	第 202 号	第 203 号	第 204 号	第 205 号	第 206 号	第 207 号	第 208 号	第 209 号	第 210 号	第 211 号	第 212 号	第 213 号	第 214 号	第 215 号	第 216 号	第 217 号	第 218 号	第 219 号	第 220 号	第 221 号	第 222 号	第 223 号	第 224 号	第 225 号	第 226 号	第 227 号	第 228 号	第 229 号	第 230 号	第 231 号	第 232 号	第 233 号	第 234 号	第 235 号	第 236 号	第 237 号	第 238 号	第 239 号	第 240 号	第 241 号	第 242 号	第 243 号	第 244 号	第 245 号	第 246 号	第 247 号	第 248 号	第 249 号	第 250 号	第 251 号	第 252 号	第 253 号	第 254 号	第 255 号	第 256 号	第 257 号	第 258 号	第 259 号	第 260 号	第 261 号	第 262 号	第 263 号	第 264 号	第 265 号	第 266 号	第 267 号	第 268 号	第 269 号	第 270 号	第 271 号	第 272 号	第 273 号	第 274 号	第 275 号	第 276 号	第 277 号	第 278 号	第 279 号	第 280 号	第 281 号	第 282 号	第 283 号	第 284 号	第 285 号	第 286 号	第 287 号	第 288 号	第 289 号	第 290 号	第 291 号	第 292 号	第 293 号	第 294 号	第 295 号	第 296 号	第 297 号	第 298 号	第 299 号	第 300 号	第 301 号	第 302 号	第 303 号	第 304 号	第 305 号	第 306 号	第 307 号	第 308 号	第 309 号	第 310 号	第 311 号	第 312 号	第 313 号	第 314 号	第 315 号	第 316 号	第 317 号	第 318 号	第 319 号	第 320 号	第 321 号	第 322 号	第 323 号	第 324 号	第 325 号	第 326 号	第 327 号	第 328 号	第 329 号	第 330 号	第 331 号	第 332 号	第 333 号	第 334 号	第 335 号	第 336 号	第 337 号	第 338 号	第 339 号	第 340 号	第 341 号	第 342 号	第 343 号	第 344 号	第 345 号	第 346 号	第 347 号	第 348 号	第 349 号	第 350 号	第 351 号	第 352 号	第 353 号	第 354 号	第 355 号	第 356 号	第 357 号	第 358 号	第 359 号	第 360 号	第 361 号	第 362 号	第 363 号	第 364 号	第 365 号	第 366 号	第 367 号	第 368 号	第 369 号	第 370 号	第 371 号	第 372 号	第 373 号	第 374 号	第 375 号	第 376 号	第 377 号	第 378 号	第 379 号	第 380 号	第 381 号	第 382 号	第 383 号	第 384 号	第 385 号	第 386 号	第 387 号	第 388 号	第 389 号	第 390 号	第 391 号	第 392 号	第 393 号	第 394 号	第 395 号	第 396 号	第 397 号	第 398 号	第 399 号	第 400 号	第 401 号	第 402 号	第 403 号	第 404 号	第 405 号	第 406 号	第 407 号	第 408 号	第 409 号	第 410 号	第 411 号	第 412 号	第 413 号	第 414 号	第 415 号	第 416 号	第 417 号	第 418 号	第 419 号	第 420 号	第 421 号	第 422 号	第 423 号	第 424 号	第 425 号	第 426 号	第 427 号	第 428 号	第 429 号	第 430 号	第 431 号	第 432 号	第 433 号	第 434 号	第 435 号	第 436 号	第 437 号	第 438 号	第 439 号	第 440 号	第 441 号	第 442 号	第 443 号	第 444 号	第 445 号	第 446 号	第 447 号	第 448 号	第 449 号	第 450 号	第 451 号	第 452 号	第 453 号	第 454 号	第 455 号	第 456 号	第 457 号	第 458 号	第 459 号	第 460 号	第 461 号	第 462 号	第 463 号	第 464 号	第 465 号	第 466 号	第 467 号	第 468 号	第 469 号	第 470 号	第 471 号	第 472 号	第 473 号	第 474 号	第 475 号	第 476 号	第 477 号	第 478 号	第 479 号	第 480 号	第 481 号	第 482 号	第 483 号	第 484 号	第 485 号	第 486 号	第 487 号	第 488 号	第 489 号	第 490 号	第 491 号	第 492 号	第 493 号	第 494 号	第 495 号	第 496 号	第 497 号	第 498 号	第 499 号	第 500 号
損益構成(01)	計上日 31/01/01~31/01/31	未承認金	外債金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金	承認金														

MS 明細	品目	数量	単価	金額	備考
A3	貸借対照表 (01)	計上日 99/01/01 ~ 99/07/31	全社必各	休業中	貸借対照表 日本円 0.085000
1	現金及び預金			112,444.54	
2	有価証券			10,156.25	
3	売掛金			157,007.00	
4	貸倒引当金			0.00	
5	繰入材料			-37,218.81	
6	原材料			118,233.00	
7	仕掛品			18,551.80	
8	製品			30,761.51	
9	商品			1,551.80	
10	貸倒引当金			449,227.08	
11	固定資産			0.00	
12	有形固定資産			0.00	
13	固定負債			124,760.00	
14	負債準備引当金			-12,650.00	
15	有形固定資産合計			113,100.00	
16	負債準備引当金			0.00	
17	資本仕訳及び特許権			0.00	
18	有形固定資産合計			0.00	
19	固定負債			0.00	
20	投資その他の資産			0.00	
21	投資その他の資産合計			0.00	
22	固定資産合計			113,100.00	

表示された金額は、
通貨換算されている。

[illegible]

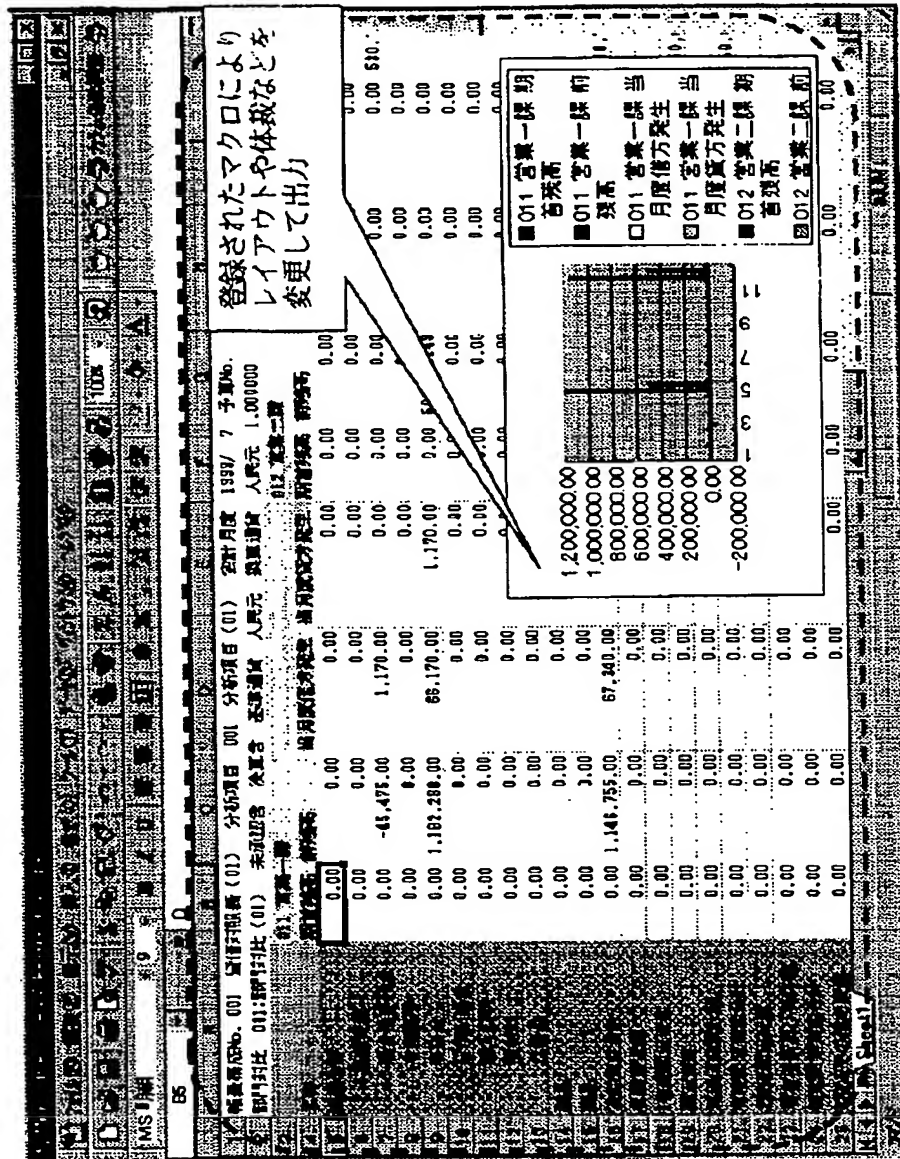
【圖 22】

[illegible]

【圖 23】

[illegible]

【図24】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☐ BLACK BORDERS

☒ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

☒ FADED TEXT OR DRAWING

☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

☐ SKEWED/SLANTED IMAGES

☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

☐ GRAY SCALE DOCUMENTS

☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.